

- 1 派遣期日 令和元年10月17日(木)
- 2 研修先 学校名 千葉県習志野市立大久保小学校
所在地 千葉県習志野市藤崎6丁目9-28

<http://www.nkc.city.narashino.chiba.jp/favicon.ico>

3 研修内容

第44回 公開研究会

テーマ 『主体的・対話的で深い学びを通して思考力を育む国語学習
～多様な情報を関連付けながら、読みを深める授業作り～』

(1) 研究主題について

① 大久保小学校でとらえる「思考力」とは

「言葉を手掛かりとしながら、目的に応じて必要な情報を見つけることや、書かれていることをもとに、書かれていないことを想像して読み深めていく力」

② 「主体的」とは

課題をもち、自分なりの考えを探して深めようとする学び

～「なぜ?」「解決したい!」「伝えたい!」気持ちが生まれる授業づくり～

主体的な学びを引き出すために、「学習教材との出会わせ方の工夫」「問いをもち、課題を設定する手立ての工夫」「課題追及のための読み深め方の工夫」「読み取ったことを発信する活動の工夫」「追及の過程をふり返り、自分の読み深まりを味わう工夫」を行っていく。

③ 「対話的」とは

自己内対話と相互作用的対話を、目的と観点をもって行う学び

～「伝えたい」「話し合いたい」意欲や必要感を生む授業づくり～

大久保小学校では、「自らの考えをふり返り、より明確にする事」「相手の意図を汲み取り、認め、共感する事」を「対話的な学び」の観点として、学び合いの場を設けることとした。

④ 「深い学び」とは

「言葉による味方・考え方」を活用しながら、自分の思いや考えを広げ深める学び

～「主体的な学び」と「対話的な学び」をスパイラルに絡み合わせ、児童の向上的変容を目指す授業作り～

中央教育審議会「次期学習指導要領に向けたこれまでの審議のまとめのポイント」では、「深い学び」の実現に向けて、「言葉による味方・考え方を働かせ、言葉で理解したり表現したりしながら自分の思いや考えを広げ深める学習活動を設けることが考えられる。」と述べている。

(2) 公開授業参観

○第4学年 国語科指導者 星 卓吾 先生

○研究主題 みんなで立てた課題をカンファレンスで話し合い、作品の心に迫る。

○単元名 作品の世界を広げよう「ごんぎつね」

○単元について

本単元の学習材「ごんぎつね」では、話し合いの質を高めるために、ノート指導を重点的に行う。1つの課題に対して、1時間考える時間を保証する。本文を根拠として、自分の意見を1ページ以上書くことを目標とする。十分に自分の考えを形成する時間を保証すれば、どの子も自信をもって自分の意見を伝え合うことができるだろう。また、カンファレンスの場面では、友だちの意見のメモをとることに重点を置く。メモにより、他人の意見を取り入れたり、比較したりし、互いの考えを深めることになるだろう。このような手立てにより、“対話的で深い学び”につながっていくと考える。

○本時の目標

36個の課題を比較・分類・整理し、学級で追求していきたい3つの課題を精査・統合・分類することができる。

○本時の展開

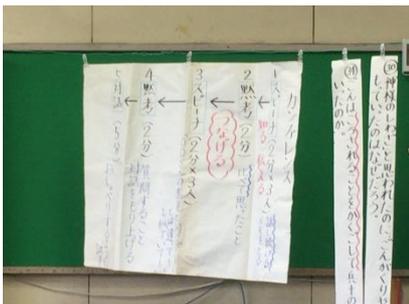
- 1 本時のめあてを確認する。(学級で考えるべき課題を3つにまとめよう。)
- 2 問いを結びつけ、課題を設定する。
 - ・問いを見て、36個の問いを分類していく。
 - ・残った問いを吟味していく。
- 3 課題を確認する。
 - ・ごんのいたずら「ごんはなぜいたずらばかりしていたのだろう。」
 - ・ごんの変化「なぜごんはいたずらばかりしていたのに、つぐないをはじめたのか。」
 - ・物語の結末「ごんは命をおとしてしまったけど、兵十の心に残った気持ち、思いは何だろう。」
- 4 作品の心を書く。

○協議

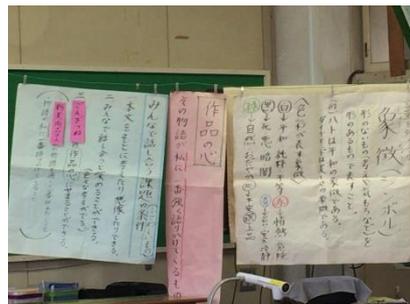
- ・主体的な課題づくりを中心として学習。個人→3人組→全体を基本として活動。
- ・読みを深めるために3人組のカンファレンスを行う。カンファレンスを行うことで、考えの再構築ができる。
- ・個人の考えを書くときには、ノート見開き1ページを基本にするとよい。書くのが苦手な子には、参考になる子のノートを見せるようにする。はじめは、根拠となる本文を抜き出して書くのもよい。(誰が、なぜかなどの声かけを行う。)
- ・カンファレンスの仕方
 - 1 スピーチ(2分×3人) 話し続ける。メモを取る。
 - 2 黙考(2分) 比べて思ったこと。
 - 3 スピーチ(2分×3人) ○○さんと同じで～、とは違っていて～、と似ていて～
 - 4 黙考(2分) 質問すること。対話を盛り上げる。
 - 5 対話(5分) おしゃべりをするように話す。
- ・「話し合いたい課題の条件」とは→「課題の精選」
 - 1 いろいろな意見が出るもの
 - 2 本文を根拠に考えられるもの
 - 3 作品の心に迫れるもの

○感想

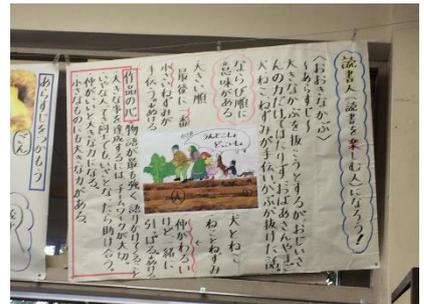
今回の研修を通して、国語科では児童同士の話し合いの場が必要であり、そのためには、話し合いたいと思える課題設定が重要であると確認することができた。また、カンファレンスを行うことで、自分の考えを相手に話す力がつくとともに、他の人の考えを聞き、比べることで、自分の考えをさらに深めることができることが分かった。今後、積極的に主体的・対話的な学習方法を取り入れ、児童の読みを深めていきたい。



カンファレンスの仕方



みんなが話し合う課題の条件



読書人になろう